



MODEL: EA231WU-BK, EA241F-BK

■ このセットアップマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。

■ 特に「安全のために必ず守ること」は、液晶ディスプレイをご使用前に必ず読んで正しくお使いください。

■ 保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。

■ セットアップマニュアルは「保証書」とともに大切に保管してください。

■ 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。

■ 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。

■ 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載漏れなどお気付きの点がありましたらご連絡ください。

PCUサイクルマーク お申込みのご案内

この度は、弊社ディスプレイをお買い上げいただきありがとうございます。

貴客有効利用促進法に基づき、本商品をご購入いただいた個人のお客様には、お申込みにより無償でPCUサイクルマークのシールをお送りします。

個人のお客様の場合：

PCUサイクルマークのお申し込みは、リサイクル窓口ホームページから受け付けます。

詳しくはWebサイト(https://www.sharp-nec-displays.com/jp/environment/recycle/index.html)をご参照ください。

支給されたPCUリサイクルマークのシールをディスプレイ本体の見やすい場所に貼り付けてください。

注意： 1度剥がしてしまうと2度貼りができないため無効となりますので、貼り付け時には充分に留意願います。また、PCUリサイクルマークの再発行は有償となります。紛失、汚損等にはご注意ください。

法人のお客様の場合：

PCUリサイクルマークのお申込みは、おこなえません。

また、PCUリサイクルマークが添付された商品を排出する場合でも産業廃棄物の扱いとなります。

2 ご使用の前に

この装置は、クラスB 機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

注意

建物に設置された配電盤は100V最大20Aの回路遮断装置を備えていることを確認してください。

注意

添付のケーブルを使用してください。

DVI-D、ミニD-Sub 15 ピンについてはシールドタイプでコア付きケーブルを使用してください。

HDMI、DisplayPort、USB、AUDIOはシールドタイプを使用してください。

これ以外のタイプのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となることがあります。

ENERGY STAR

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準に出荷時の設定で適合していると判断します。画質の設定や他の設定を変更すると基準に適合しません。

本商品は社団法人電子情報技術産業協会が定めた「表示装置の静電気および低周波電磁界」に関するガイドラインに適合しています。

グリーンマーク

JIS C 0950(通称J-Moss)とは、電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法を規定した日本工業規格です。特定の化学物質（鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE）の含有状況により、次の2種類の表示マークがあります。

・含有マーク：特定の化学物質が含有率基準値を超える製品に付与するマーク

・グリーンマーク：同化学物質が含有率基準値以下（但し除外項目あり）である製品にメーカーが任意で表示することができるマーク

本製品に表示されているマークは、グリーンマークです。

製品の情報は、https://www.sharp-nec-displays.com/jp/environment/j-moss.html をご覧ください。

お知らせ 液晶ディスプレイに関するご注意

液晶ディスプレイは、精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや常時点灯しているドットが見えることがあります。これは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。本製品のドット抜けの割合は、0.00012%以下（EA231WU）、0.00013%以下（EA241F）です。

本製品は、ISO-9241-307 基準に従い、ドット抜けの割合基準値は 1 サブピクセル（副画素）単位で計算しております。

【注】 一般的な言い方として「画素」を「ドット」という言葉で表現しておりますが、ISO9241-307 に従い、正確に表現すると、「画素」は「ピクセル(pixel)」、「ドット」は「副画素」とも呼ばれ「サブピクセル(sub pixels)」となります。

つまり、「画素」は実体的ある副画素と言われる発光する点から構成され、「副画素」は、画素に色または階調を与えるもので、一つの画素内で個別に処理される分割された画素内部構造を示します。

Windows® は、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。

MultiSync® は、NEC ディスプレイソリューションズ株式会社の登録商標です。

DisplayPort および DisplayPort ロゴは、Video Electronics Standards Association の米国その他の国における商標または登録商標です。

HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。

その他の社名および商品名は、各社の商標および登録商標です。

1 安全のために必ず守ること

この取扱説明書に使用している表示と意味は次のようになっています。

誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告

誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性もあるもの

注意

誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

図記号の意味は次のとおりです。

△ 記号は注意(警告を含む)をうながすことを表しています。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⊘ 記号はしてはいけないことを表しています。図の中に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

● 記号はしなければならないことを表しています。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。

●ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。

警告

万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜き液晶ディスプレイを安全な場所に移動する！！

異常のまま使用すると、液晶ディスプレイの落下・火災・感電・火傷の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、液晶ディスプレイを安全な場所に移動させ、販売店に修理をご依頼ください。

地震等で製品の転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒・落下防止対策をおこなってください。転倒・落下防止器具を取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適当な補強を施してください。また、転倒・落下防止対策は、けがなどの危害の軽減を意図したのですが、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。

故障(画面が映らないなど)や煙、異常発熱、変な音・においがするとき

液晶ディスプレイがぐらつく、またはスタンド部にひびや亀裂がある場合は使わない

裏ぶたを外さない

電源コードを傷つけない

傾斜面や不安定な場所に置かない

異物をいれない

風呂場や水のかかるところに置かない

アースード線を挿入・接続しない

警告

正しい電源電圧で使用する

指定の電源電圧以外で使用すると火災・感電の原因となります。一般のご家庭用のコンセント(AC100V)でお使いいただくための電源コードを添付しております。AC100V 以外で使用しないでください。本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用できません。

修理・改造をしない

けが・火災・感電の原因となります。雷が降り出したら、電源プラグには触れない

感電の原因となります。

液晶を口にしない

液晶パネルが破損し、液晶がもれ出た場合は、液晶を吸い込んだり、飲んだりすると、中毒を起こす原因となります。万一口に入ってしまったり、目に入ってしまった場合は、水でゆすいでいただき、医師の診断を受けてください。手や衣服についてしまった場合は、アルコールなどでふき取り、水洗いしてください。

警告

注意

設置のときは次のことをお守りください。

風通しが良かったり、置き場所によっては、内部に熱がこもり、火災や感電の原因となることがあります。

狭い所に置かない

あお向けや横倒し、さかさまにしない

直射日光や熱器具のそばに置かない

布などで通風口をふさがない

屋外での使用禁止

湿気やほこりの多い所、油煙や湯気の当たる所に置かない

車載用禁止

車載用など移動用途には使用できません。故障の原因となることがあります。

本機は屋内での使用を想定しています。屋外で使用するご故障の原因となることがあります。

液晶パネルに衝撃を加えない

破損してけがや故障の原因となることがあります。

液晶ディスプレイを移動または設置する場合

破損してけがや故障の原因となることがあります。

電源プラグを持って抜く

コードを引っ張ると傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

電源コードやケーブル類をつけたまま移動しない

火災・感電の原因となることがあります。電源プラグや機器間の接続を外したことを確認のうえ、移動してください。

ケガに注意

ぬれ手禁止

禁止

注意

アース線を接続する

本機は電源コードのアース端子を大地アースに接続することを前提に設計されているアースつき 2 芯プラグ機器です。機器の安全確保のため、電源コードのアース接続線を、コンセントのアース端子に接続し、機器のアースを確実にとってご使用ください。アースを接続しないおそれがあります。アース工事は専門業者にお任せください。アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込み、電源コードをコンセントから抜くまでに行ってください。アースを外す場合は、必ず電源コンセントから抜いてからごこなしてください。

電源プラグを奥までさしこむ

しっかりと差し込む

スタンドに指をはさまない

角度および高さ調節時に指や手をはさむとけがの原因となることがあります。

ケガに注意 手の狭みこみに注意

お手入れの際は電源プラグを抜く

感電の原因となることがあります。

プラグを抜く

1 年に一度は内部掃除を

内部にはこりがたまってしまうと、火災や故障の原因となることがあります。内部掃除は販売店にご依頼ください。

内部掃除

長期間の旅行、外出のときは電源プラグを抜く

プラグを抜く

電源プラグのほこりなどは定期的に取る

火災の原因となることがあります。1 年に一度は電源プラグの定期的な清掃と接続を点検してください。

ほこりを取る

推奨の溶剤をお手入れする

キャビネットおよびスタンドの表面はプラスチックが多く使われています。ペンシリンやシンナー、アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、ガラスクリーナー、ワックス、研磨クリーナー、粉石鹸などを用いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変質・ひび割れしたり、塗装がはがれる原因となることがあります。(化学薬品などご使用の際は、その注意書きに従ってください)また、ゴムやビニル製品などを長時間接触させたままにしないでください。同時にキャビネットおよびスタンドが変色したり、変質・ひび割れするなどの原因となることがあります。(例えば表面のお手入れにつきましても、溶剤を使用される場合は以下のものを推奨いたします。その際は溶剤が残らないようにしてください。(水、エタノール、インプロビアルアルコール)推奨以外の溶剤(酢、アルコール、アセトン等)は使用しないでください。溶剤類や水液等が液晶ディスプレイ内部に入ったり表示面以外の液晶ディスプレイ表面に付着すると、商品に破壊をおよぼすことがあります。

キャビネットの溶剤類 使用禁止

液晶ディスプレイの上手な使い方

日本国内専用です

この液晶ディスプレイは日本国内用として製造・販売しています。日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いません。またこの商品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国内ではおこなっていません。

For use in Japan only

国内専用

キャビネットのお手入れ

お手入れの際は電源プラグを抜いてください。まらかに布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには水でうすめたり、中性洗剤に浸した布をよくしぼったき取り、乾いた布で拭き取ってください。

ブラグを抜く

中性洗剤

液晶パネルのお手入れ

パネル表面は滑りやすいので、硬いもので押したり、こすったりしないでください。取り扱いはご注意ください。パネル表面は樹脂などにより汚れることのないようご注意ください。パネル表面が汚れた場合には、乾いた布で軽く拭き取ってください。また、乾いた布を使用されることも、同じ布の繰り返し使用は避けてください。

This color monitor is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.

上手な見方

画面の位置は、目の高さよりやや低く、目から約 40 ～ 70cm 離れたくらいが見やすく目の疲れが少なくなります。

重要なお知らせ

残像について

残像とは、長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残る現象ですが、故障ではありません。残像は、画面表示を消すと同時に消えませんが、あまり長時間同じ画面を表示すると残像が深くなりますので、同じ画面を長時間表示するようない方は避けてください。「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えることをおすすめします。

4 接続

ベーススタンドを取り付ける

1 平らで安定した場所に柔らかな布を敷き、液晶パネルを下向きに置いて置く。

△ 注意

液晶パネルを下向きに置く際に表示部の下に物を置かないでください。また、突起など無い事を確認し表示部を傷つけないように注意してください。

2 図のようにスタンド部分を90度回転させてください。

△ 注意

スタンドを回転させる際に指をはさまないように注意してください。

3 ベーススタンドに取り付けられているネジを使ってスタンドにベーススタンドを取り付けてください。

△ 注意

スタンドにベーススタンドを取り付ける際は、安全のため、ネジを完全に締めてください。

お 願 い

● 再梱包をする場合は、逆の手順をおこないます。

● 市販のアームを取り付ける際は、取り付け作業をおこなう前に取扱説明書に記載されている注意事項を必ずご確認ください。

接続する

1 信号ケーブルを接続する

信号ケーブルおよび変換アダプター(市販品)は、コネクターの向きを確かめ、垂直に奥までしっかりと差し込んでください。

お 知 ら せ

● 信号ケーブルや電源コードが本機またはコンピューターに正しく接続されていないと、画面に何も映らない等の症状がでる場合があります。

2 USBケーブルを接続する

1 USBケーブルの角型端子を本機のUSBアップストリームポートにしっかりと差し込む

2 USBケーブルの平型端子をコンピューターのUSBダウンストリームポートに差し込む

お 願 い

● USBケーブルのコネクターの形状及び向きをよく確かめてから接続してください。

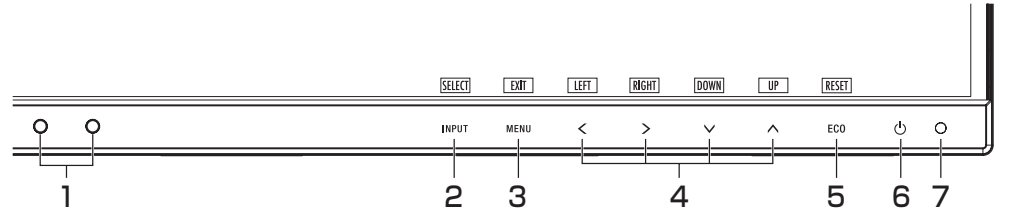
お 知 ら せ

● 本機はUSB3.1 Gen1 に対応しています。USB2.0またはUSB1.1 で接続した場合の最大転送速度は、それぞれの規格値となります。

△ 注意

USBケーブルは束ねて(丸めて)固定せずに使用してください。ケーブルが発熱して火災の原因となるおそれがあります。

3 各部の名称



1 照度センサー

周囲の明るさを検知するセンサーです。

「OFF MODE SETTING」機能と「オートブライトネス」機能使用時に動作します。「OFF MODE SETTING」機能と「オートブライトネス」機能使用時には障害物の陰にならないよう注意してください。

1 人感センサー

本機の正面に在席していることを検知するセンサーです。

人感センサー機能使用時に動作します。人感センサー機能使用時には障害物の陰にならないよう注意してください。

2 INPUT/SELECT*キー

- OSD画面が表示されていない場合
- 入力切替メニューを表示します。(図1)
- OSD画面が表示されている場合
- 選択した項目を決定します。
- 3秒以上タッチすると「L/B」(ブルー・ライト低減モード)に切り替わります。

図1

3 MENUキー/EXIT*キー

- OSD画面が表示されていない場合
- OSD画面を表示します。3秒以上押し続けると「CUSTOMIZE SETTING」が記憶した設定を復元することができます。
- OSD画面が表示されている場合
- OSD画面を消します。OSD画面を操作しているときにタッチすると、1つ上の画面に戻ります。

4 < > V ^ /LEFT*, RIGHT*, DOWN*, UP*キー

- OSD画面が表示されていない場合
- 「ホットキー」が「オン」に設定されているときに、へで「ブライトネス」✓で「音量」のOSD画面が表示されます。
- OSD画面が表示されている場合
- OSD画面の操作をします。

5 ECO/RESET*キー

- OSD画面が表示されていない場合
- 「ホットキー」が「オン」に設定されているときに、以下の機能を使用できます。
- ・「ECO MODE」を切り替えます(「オフ」、「1」、「2」)。画面右上に現在の状態が表示されます。
- ・(アナログ接続の場合のみ「ECO MODE」)の設定が表示されていないときに 3秒以上タッチし続けると、「自動調節」が動作します。

- OSD画面が表示されている場合
- 表示されているグループアイコンのサブメニュー全体、または各調節項目のリセット画面が表示されます。リセットする場合は、画面の表示に従ってINPUT/SELECTキーをタッチしてください。

* OSD画面で「KEY GUIDE」をオンにした際、画面上に表示されます。

6 電源スイッチ

電源をオン/オフするときにタッチします。

お 願 い

電源を短時間のうちにひんぱんにオン/オフしないでください。故障の原因となることがあります。

お知らせ

本機は入力信号がない状態で2時間以上継続すると自動的に電源をオフにするPOWER SAVE TIMER機能があります。

7 電源ランプ

電源を入れたとき、青色に点灯します。パワーマネジメント機能の作動中は、橙色に点灯します。

電源を入れても電源スイッチが点灯しない場合は、「LEDブライトネス」調節機能で輝度を下げているか確認してください。

8 電源入力コネクタ

電源コードを接続します。

9 DisplayPort 入力コネクタ

デジタル映像インターフェースの DisplayPort ケーブルを接続します。

10 DVI 入力コネクタ

DVI-D ケーブルを接続します。

11 HDMI 入力コネクタ

デジタル映像インターフェースの HDMI 規格に準拠した機器と接続します。

12 ミニ D-Sub 15 ピン入力コネクタ

ミニ D-Sub 15 ピンケーブルを接続します。

13 ControlSync IN/OUT

ControlSync ケーブルを接続します。

14 オーディオ入力端子

オーディオケーブルを接続します。

15 USB アップストリームポート

コンピューター接続用の USB ポートです。

16 USB ダウンストリームポート

USB 対応周辺機器および USB フラッシュメモリー接続用の USB ポートです。

17 ヘッドホン端子

ヘッドホン端子にヘッドホンを接続して使用できます。

18 セキュリティーースロット

セキュリティーースロットは、市販のケンジントン社製セキュリティーケーブルに対応しています。

製品については、ケンジントンのホームページをご参照ください。

19 ハンドル

持ち運びを容易にします。

③ オーディオケーブルを接続する

(ミニD-Sub 15ピン/DVI-Dピン入力時)
オーディオケーブル(市販)のプラグを音声入力端子に奥までしっかり差し込みます。
(DisplayPort/HDMI入力時)
DisplayPortケーブルまたはHDMIケーブル(市販)で接続した場合、本接続は不要です。

④ 電源を接続する

1 電源コードの一方の端を、本機の電源入力コネクタに差し込む

お 願 い

- コンピューター本体の電源コンセントに接続するときは、本機の使用に十分な電源容量が供給されることを確認してください。
- 電源コードは本機に接続してから電源コンセントに接続してください。
- 奥までしっかりと差し込んでください。

2 電源コード、信号ケーブル、USBケーブル、オーディオケーブル（市販）をケーブルホルダー内に収める

ケーブルマネージメントをご使用にならない場合はこれらの作業は不要です。

お 願 い

- ケーブル類はケーブルカバーに確実に入れ、また均等に収めるようにしてください。
- 画面を前後に動かし、ケーブル類に十分な余裕があるかどうかを確認してください。
- 図を参考にして、ケーブル類のたわみが十分にあることを確認してください。ケーブル類のたわみが不十分な場合は、ケーブルの断線などが発生する原因となることがあります。

3 アースリード線を接地（アース接続）する

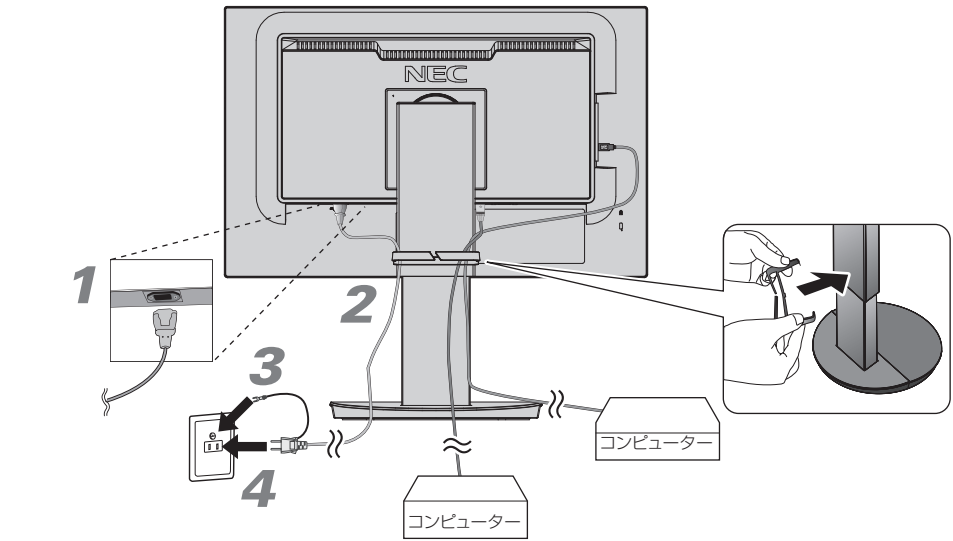
4 電源プラグをAC100V電源コンセントに接続する

△ 警 告

- ・表示された電源電圧以外で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- ・本機には一般のご家庭のコンセント（AC100V）でお使いいただくための電源コードを添付しております。AC100V 以外で使用しないでください。
- ・電源プラグのアースリード線は必ず接地（アース）してください。なお、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。また、電源プラグのアースリード線は電源コンセントに挿入または接触させないでください。火災・感電の原因となります。
- ・本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のための他機器には使用しないでください。

お 願 い

- 電源コンセントの周辺は、電源プラグの抜き差しが容易なようにしておいてください。



6 困ったとき

故障かな？と思ったら…

このようなときは、チェックしてください。

表示されないときは…

症 状	状 態	原因と対処
画面に何も映らない	電源ランプが点灯しない場合	本機の故障である可能性があります。販売店または「修理受付／アフターサービス窓口」にご相談ください。
		電源スイッチが入っていない可能性がありますので、確認してください。
		電源コードが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。
		電源コンセントに正常に電気が供給されているか、別の機器で確認してください。
		電源コードをコンピューターの本体のコンセントに接続している場合は、コンピューターの電源を入れていない可能性があります。コンピューターの電源が入っているか確認してください。
		「LEDブライトネス」調節機能で輝度を下げていると電源ランプが点灯しない場合がありますので、確認してください。
		「POWER SAVE TIMER」が作動している可能性があります。電源キーをタッチしてください。
		OSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。
電源ランプが青色に点灯している場合		OSD画面が表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または「修理受付／アフターサービス窓口」にご相談ください。
		● 正常な状態でOSD画面が表示されれば故障ではありません。MENUキーをタッチして、メニューを表示させてください。その後、「ブライトネス」を調節してください。
		● OSD画面が正常に表示され、「ブライトネス」を調節してもコンピューターの画面が表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。
		● 人感センサーが、人がいないと認識している可能性があります。人感センサーの感度を調節してください。
電源ランプが橙色に点灯している場合		パワーマネジメント機能が作動している可能性があります。キーボードの適当なキーを押すか、マウスを動かしてください。
		信号ケーブルが本機またはコンピューターのコネクタに正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。
		変換アダプターが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。
		コンピューターの電源が入っていない可能性がありますので、確認してください。
画面が表示しなくなった	正常に表示されていた画面が、暗くなったり、ちらつくようになったり、表示しなくなった場合*	新しい液晶パネルとの交換が必要ですが、販売店または「修理受付／アフターサービス窓口」にご相談ください。

※ ディスプレイに使用しているバックライトには寿命があります。

⑤ 設置と調節

1 本機を使用する場所に設置する

お 願 い

- スタンド底面部にある「」を右図のように手前に向けて設置してください。↑の位置がずれていると、左右均等にスワイベルしなくなります。

2 本機の電源を入れてから、コンピューターの電源を入れる

3 画面の調節をおこなう

■ デジタル接続の場合（DisplayPort入力コネクタ、HDMI入力コネクタ、DVI-Dコネクタ）

自動判別によって画面情報を設定しますので、画面の調節は不要です。

■ アナログ接続の場合（ミニD-Sub15ピン入力コネクタ）

まずは「自動調節をする（アナログ接続の場合）」の手順に従って自動調節をしてください。

自動調節をおこなってもうまく表示されない場合は、「OSD画面の基本操作」をご覧ください。

4 USBの認識

USBハブの接続がコンピューター側で検出され、USBハブ用のデバイスドライバとUSBモニター制御のデバイスドライバが自動的にインストールされます。

コンピューターによっては、接続してもUSBハブと検出されない場合があります。その場合は画面に表示されるメッセージに従って、USBハブ用のデバイスドライバをインストールしてください。

お 願 い

- 本機がコンピューターに認識されるまでに数秒程度必要です。認識される前にUSBケーブルを引き抜いたり、瞬間的な抜き差しを繰り返したりしないでください。

5 高さや角度を調節する

お好みに合わせて本機の高さや角度を調節してください。

右図のように見やすい角度および高さに調節します。

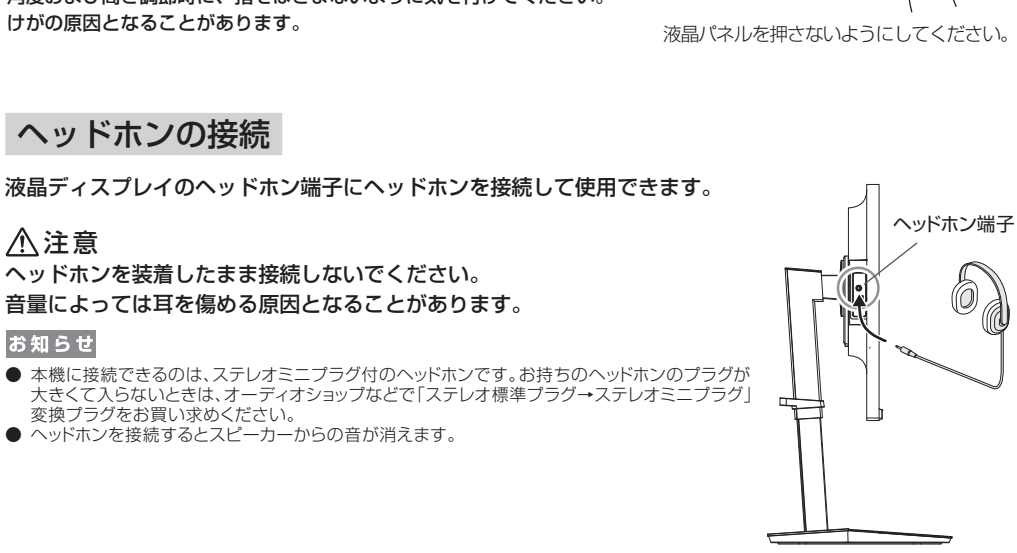
お 願 い

- 本機のチルト角度を変えても、ケーブルが外れないことを確認してください。

△ 注意

角度および高さ調節時に、指をはさまないように気を付けてください。

けがの原因となることがあります。



ヘッドホンの接続

液晶ディスプレイのヘッドホン端子にヘッドホンを接続して使用できます。

△ 注意

ヘッドホンを装着したまま接続しないでください。

音量によっては耳を傷める原因となることがあります。

お 知 ら せ

- 本機に接続できるのは、ステレオミニプラグ付のヘッドホンです。お持ちのヘッドホンのプラグが大きく入らないときは、オーディオショップなどで「ステレオ標準プラグ→ステレオミニプラグ」変換プラグをお買い求めください。
- ヘッドホンを接続するとスピーカーからの音が消えます。

案内画面／注意画面が表示されたら…

症 状	原 因	対 処
画面に「NO SIGNAL」が表示された！※1	信号ケーブルが本機またはコンピューターのコネクタに正しく接続されていない可能性があります。	信号ケーブルを本機およびコンピューターのコネクタに正しく接続してください。
VIDEO INPUT DISPLAYPORT NO SIGNAL	信号ケーブルが断線している可能性があります。	信号ケーブルが断線していないか確認してください。
	電源ランプが橙色に点灯している場合は、コンピューターの電源が切れている可能性があります。	コンピューターの電源が入っているか確認してください。
	コンピューターの「パワーマネジメント」機能が作動している可能性があります。	マウスを動かすかキーボードのキーを押してください。
	「VIDEO DETECT」が作動していない可能性があります。	INPUTキーで入力を選択し、「VIDEO DETECT」を「[NONE]」に設定してください。
画面に「OUT OF RANGE」が表示された！※2	本機に適切な信号が入力されていない可能性があります。	入力周波数またはコンピューターの解像度を変更してください。
VIDEO INPUT DISPLAYPORT OUT OF RANGE	本機の対応する解像度よりも高い解像度の信号を入力しています。	入力周波数またはコンピューターの解像度を変更してください。

※1 コンピューターによっては、解像度や入力周波数を変更しても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待つて画面が正常に表示されれば、入力信号は適正です。

※2 コンピューターによっては電源を入れても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待つて画面が正常に表示されれば入力信号の周波数は適正です。

その他の症状のときは・・・

Webサイト内の取扱説明書をご覧ください。

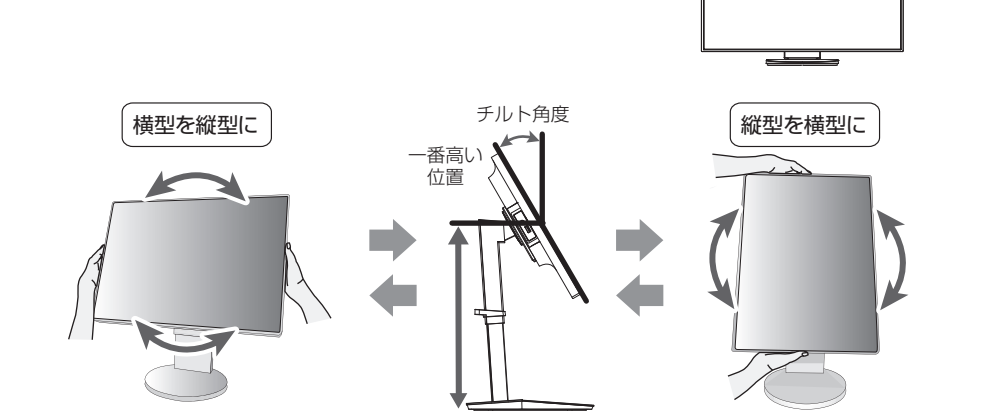
https://www.sharp-nec-displays.com/dl/jp/dp/man_dim/index.html



縦型で使用する

1 縦型に回転する

本機を一番高い位置までスライドします。
本機のチルトの角度を最大にします。
本機の両端をしっかりと持ち、回転させてください。
本機のピボット角度は図の通りです。



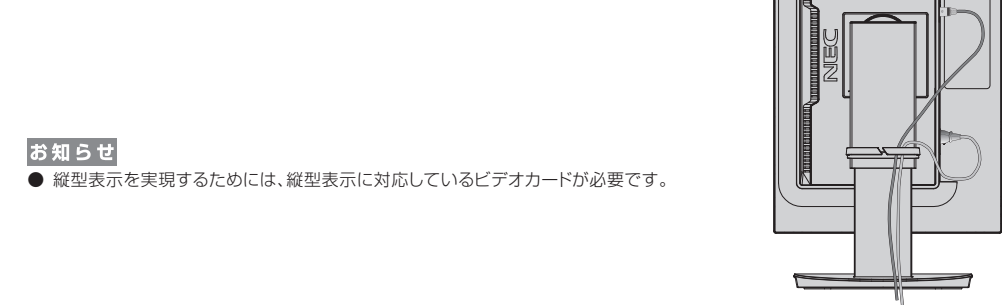
△ 注意

- ・本機を回転させる場合は必ず電源コード、信号ケーブルを外してからおこなってください。外せずに回転すると、ケーブル類が引っ張られ、ケーブルホルダーが破損するおそれがあり、けがの原因となることがあります。

- ・本機を回転する場合は、必ず本機を一番高い位置までスライドさせ、チルト角度を最大にしてください。低い位置のまま回転すると、指をはさむなど、けがの原因となることがあります。また、机にぶつけるなど、事故の原因となることがあります。

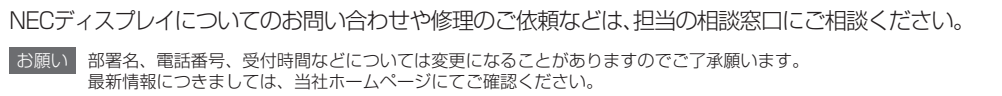
2 各種ケーブルを接続する

- ・下記の図を参考に電源コード、信号ケーブルを接続してください。
- ・画面を前後に動かし信号ケーブル類に十分な余裕があるかどうかを確認してください。



お 知 ら せ

- 縦型表示を実現するためには、縦型表示に対応しているビデオカードが必要です。



使用方法についてのご相談

NECディスプレイの使用方法、機能、性能、パソコンとの接続などについての疑問は、インターネットホームページでも情報を公開しております。
「取扱説明書」をご確認いただくか、下記の技術相談窓口へお問い合わせください。

・相談窓口

お 客 様 相 談 窓 口	NECモニター・インフォメーションセンター	電話番号：0120-975-380（フリーコール）
受付時間	月～金曜日 9:00～18:00 (土・日・祝祭日は休ませていただきます。また、これ以外の当社休日につきましても休ませていただきますので、ご了承ください。)	

・インターネットホームページ

当社ディスプレイについての説明、新製品情報など

<https://www.sharp-nec-displays.com/jp/>

本機を廃棄するには（リサイクルに関する情報）

本製品は「資源有効利用促進法」に基づく指定再資源化製品です。希少資源の再利用のため、不要になった製品のリサイクルにご協力ください。詳しくは当社 Web サイトをご参照ください。

「製品リサイクルのご案内」について
<https://www.sharp-nec-displays.com/jp/environment/recycle/index.html>

5 設定

手順1 解像度を1920×1200 (EA231WU)、1920×1080 (EA241F) に設定、確認する

画面の解像度を1920×1200 (EA231WU)、1920 ×1080 (EA241F) に設定し、確認してください。

手順2 画面表示の自動調節を行う(アナログ接続の場合)

本機をコンピューターとアナログ接続したときには、最初に自動調節をおこないます。自動調節を実行したあと、さらに調節が必要な場合は、各調節項目を個別に調節してください。

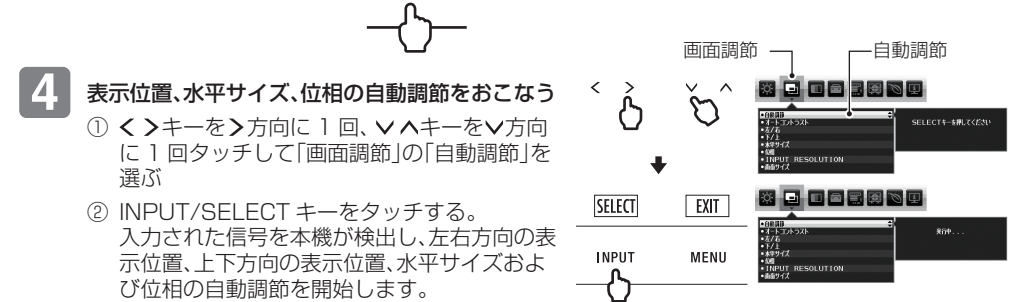
お 知 ら せ

- 「自動調節」は、アナログ接続の場合のみです。デジタル接続の場合は必要ありません。
- 「自動調節」は適切な画面を表示するよう、画面のコントラスト、表示位置、水平サイズや位相を自動で調節します。

1 本機の電源を入れてから、コンピューターの電源を入れる

2 画面全体にワープロソフトの編集画面などの白い画像を表示する

3 MENUキーをタッチして、OSD画面を表示する



4 表示位置、水平サイズ、位相の自動調節をおこなう

- ① <>キーを>方向に1回、∨∧キーを∨方向に1回タッチして「画面調節」の「自動調節」を選ぶ
- ② INPUT/SELECT キーをタッチする。
入力された信号を本機が検出し、左右方向の表示位置、上下方向の表示位置、水平サイズおよび位相の自動調節を開始します。

5 コントラストの自動調節をおこなう

- ① 表示位置、水平サイズ、位相の自動調節が完了した状態で、∨∧キーを∨方向に1回タッチして「オートコントラスト」を選ぶ
- ② INPUT/SELECT キーをタッチする。
入力された信号を本機が検出し、コントラストの自動調節を開始します。

「実行中...」の表示が消え、元の画面が表示されたら調節完了です。
これですべての自動調節が完了しました。

6 MENUキーを2回タッチし、OSD画面を消す

お 願 い

- コマンドプロンプトのように文字表示のみの場合や画面いっぱいに画像が表示されていない場合は、自動調節がうまく機能しない場合があります。
- コンピューターやビデオカード、解像度によっては、自動調節がうまく機能しない場合があります。この場合は、マニュアル調節で好みの画面に調節してください。
- 白い部分が極端に少ない画像の場合は、自動調節がうまく機能しない場合があります。

保証とアフターサービス

- この商品には保証書を添付しています。保証書は必ず「お買上日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みの上、大切に保存してください。
- 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店または修理受付／アフターサービス窓口にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- その他、アフターサービスについてご不明の場合は、お買上げの販売店か、修理受付／アフターサービス窓口へご相談ください。
- 部署名、電話番号、受付時間などについては変更になることがありますのでご了承ください。最新情報につきましては、当社ホームページにてご確認ください。

修理受付／アフターサービス窓口

個人ユーザー様の窓口	法人ユーザー様の窓口
121コンタクトセンター フリーコール：0120-977-121 携帯電話、PHSなどフリーコールをご利用できないお客様はこちらの番号へおかけください。 03-6670-6000（通話料お客様負担）	NECビジネスPC修理受付センター フリーコール：0120-00-8263 携帯電話をご利用のお客様はこちらの番号へおかけください。 0570-064-211（通話料お客様負担）
最新の情報については、 https://support.nec-lavie.jp/121cc/ をご覧ください。	受付時間：月～金 9:00～18:00 休日：土曜・日曜・祝日および年末年始等の所定休日とさせていただきますので、ご了承ください。

アフターサービスを依頼される場合はつぎの内容をご連絡ください。

- お名前
- ご住所（付近の目標など）
- 電話番号
- 品名：マルチシク液晶ディスプレイ
- 型名：LCD-EA231WUシリーズ
LCD-EA241Fシリーズ
- 製造番号（本機背面のラベルに記載）
- 故障の症状、状況など（できるだけ詳しく）
- 購入年月日または使用年数